

「参院選の候補者、自民県連が公募」日本経済新聞栃木版 2009年12月26日朝刊を読む

参院選の候補者自民県連が公募

1. 自民党栃木県連は 25 日、来夏の参議院選挙の候補者を公募すると発表した。申し込み期間は来年 1 月 25 日まで。2 月中旬までに応募者の中から候補者を決める。
2. 栃木選挙区では自民党の矢野哲朗参院議員が参院選に立候補しない考えを表明している。
3. 同県連が選挙の候補者を公募するのは初めて。公募により候補者決定の過程を透明化し、同党への支持を高める狙い。応募資格は日本国籍を有する 30 歳以上の人。栃木県内に在住していなかったり、自民党員でなくても応募できる。
4. 応募には「日本の未来像と国政への提言」とのテーマで 2000 字程度の論文を提出する必要がある。
5. 候補者は書類選考や面接などで決める。党員投票を行う可能性もあるという。

[コメント]

自民党再生プロジェクトチームが栃木県でも発足。茂木敏充代議士より御指名頂いたので、私も委員の一人として 3 回の会合すべてに参加。

今後の国レベルの選挙、地方レベルの選挙すべてについて、自民党として公認をする候補者は公募制にすることが再生の第一歩と毎回強く主張させて頂いた。

私以外にも多くの方が同様の主張をなさり、自民党栃木県連でもお取り上げ頂き、実行に移されることになった。

活発な形で予備選挙が行われることを期待したい。

— 2009年12月26日 林明夫記 —